

徳島新聞に見る戦いの跡

2022年(令和4年)5月8日 日曜日

那賀川男女が頂点

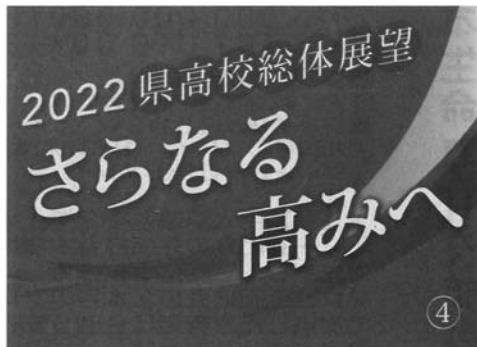
剣道

県中学選手権

剣道の第51回徳島県中学校選手権は7日、鳴門ソイジョイ武道館で男子28校、女子22校が参加して団体戦が行われ、那賀川が男女そろって優勝した。男子は2年連続6度目、女子は4年ぶり17度目。大会は新型コロナウイルスの影響で、2020年から2年連続で中止され、3年ぶりの開催となった。

【男子】1回戦 藍住東3-2羽ノ浦 徳島文理4-0板野 石井4-1脇町 鴨島3-1鷺敷

藍住3-1城東 相生1(本数勝)	【女子】1回戦 脇町2-1北
ち1山城 県立川島5-0江原	島 羽ノ浦2-0城東 県立川島
阿波4-0加茂名 城内5-0	5-0半田 徳島3-2石井 藍
三好 松茂3-1大麻 国府4-1	佳東4-0三好 富岡東4-1土
0半田 小松島5-0瀬戸ノ之回	成ノ之回戦 那賀川5-0脇町
戦 那賀川5-0藍住東 石井1	加茂名4-1江原 国府3-0羽
(代表勝ち) 1徳島文理 鴨島1	ノ浦 鳴門3-1県立川島 徳
5-0藍住 鳴教大付5-0相生	島文理3-1徳島 鳴教大付2本
阿南2-1県立川島 城内5-1	数勝ち 2藍住東 勝浦3-1鷺
0阿波 松茂4-1国府 徳島4	敷 小松島4-0富岡専 準々決
1小松島 準々決勝 那賀川4	勝 那賀川4-0加茂名 鳴門1
0石井 鴨島3-1鳴教大付	2-1国府 徳島文理3-0鳴教
城内3-1阿南 徳島4-0松	大付 小松島2-0勝浦 準決勝
茂 準決勝 那賀川3-0鴨島	那賀川5-0鳴門 小松島1代
1城ノ内3-2徳島	表勝ち 1徳島文理
▽決勝	▽決勝
那賀川3-2城ノ内	那賀川4-0小松島
岩本 1コト 小坂0	○内田 ヌト
○大和 コーメ 榎本	○山本 ー
○原 ヌー 宮田	○柏木 ヌコー
○尾畑 ヌー 原田	○甘利 ヌー
平松 ー ヌ 大石0	○高嶋 コー
	岩谷 松浦 上野 榎原



剣道
藍住町民体育館

**男子は混戦模様
女子は富岡東有力**

16校で争う男子は混戦模様。県会長杯を制した阿南光、2位の鳴門渦潮、県新人大会優勝の富岡西に加え、徳島文理、城北、川島にもチャンスがある。

個人は、阿南光勢と富岡西勢が中心。阿南光では昨年の全国総体個人戦出場の富田、県選手権優勝の尾畑、富岡西では三好、橋本、岩谷が有力。女子は10校が出場。全国選抜大会でベスト16入りした富岡東が、優勝候補の最右翼。県会長杯準優勝の徳島文理、4強の富岡西、阿南光が追う。城北、川島も地力があり、楽しみな存在だ。

個人も富岡東勢を軸にした争いが予想される。鳥澤、谷村のほか、1年の中村も注目される。

【日程】4日男女団体、5日男女個人



8連覇を目指す剣道の富岡東女子

2022年(令和4年)6月5日 日曜日

阿南光が初制覇

女子は富岡東36度目

剣道
富岡東36度目

阿南光 2-1 富岡西
尾畑 3-1 岩谷
津山 1-1 玉垣
岡崎 3-1 三好
富田 1-1 堀本
城北 1-1 堀内
富岡東 3-0 富岡西
中尾 1-1 中尾
川野 1-1 川野
川野 1-1 川野
川野 1-1 川野

前監督に贈る感謝のV 阿南光

選戦が引き継がれ、女子は阿南光が初制覇の城へ。阿南の代表は前監督が「頼んでいる。おは、先鋒(せんぽう)の富田(とみだ)城北(しろきた)の永瀬(ながせ)にいつかない」という口癖も、この日も苦しい試合、相打ち、勝敗は表裏、主将の「仲間がきかした」と涙を振り返った。



富岡東36度目の制覇。阿南光(左)と富岡西(右)の対戦。阿南光は先鋒で勝利した。阿南光の剣道部は、富岡東36度目の制覇を達成した。

阿南光は、選戦から21年間にわたってチームを率い、今年退職した佐々木前監督への感謝の言葉を述べた。阿南光は、富岡東36度目の制覇を達成した。

男子団体決勝、阿南光対富岡西。先鋒で勝利した阿南光の尾畑(左)と富岡西の大橋(右)。



女子団体決勝・富岡東対富岡西 2本勝ちした富岡東の中堅・平田(右)

悪い流れ断ち 息を吹き返す 富岡東

富岡東が苦しみながら、ただけに「力」が戻ってきた。この悪い流れを断ち切った。富岡東は、この悪い流れを断ち切った。富岡東は、この悪い流れを断ち切った。

富岡東が苦しみながら、ただけに「力」が戻ってきた。この悪い流れを断ち切った。富岡東は、この悪い流れを断ち切った。富岡東は、この悪い流れを断ち切った。



敢闘賞の徳島剣清塾

◆第40回三浦旗少年大会(5月8日・新居浜市民体育館)
 ◇徳島県関係の上位
 △小学生低学年団体1回戦
 徳島剣清塾(先鋒・水口晴香、次鋒・岩崎、中堅・集心暖、副将・高橋明里、大将・平田憂寿)5
 ○新居浜市連盟(愛媛)2回戦
 清塾3、0久枝剣道(愛媛)3
 3回戦 剣清塾5、0丹原連盟(愛媛)2準々決勝 小倉根剣友会(大阪)2-1剣清塾
 徳島剣清塾は敢闘賞

剣道

**あわー
スポーツ**

記録・情報はお客さまセンターまで早めにお届けください。

電話 088 (655) 7231
 F A X (0120) 333414
 メール awaspo@topics.or.jp



中学生団体を制した養武館



小学生団体が優勝の日垂鍊心塾

◆第4回徳島県道場少年大会兼全国道場少年大会・同選手権徳島県予選(5月16日・鳴門ソレイユイ)



小学生個人女子の上位入賞者



小学生男子個人の上位入賞者

武道館
 【団体】小学生の部①日垂鍊心塾 ②先鋒③山口純葉 ④中堅⑤坂口 ⑥大将⑦多川響音 ⑧徳島剣清塾
 【小学生男子】①養武館 ②中学生の部①武道館 ②先鋒③小田ありさ ④中堅⑤柏原あこ ⑥大将⑦多田健心 ⑧鳴門市武館 ⑨松和会 ⑩佐吉クラブ
 【個人】小学生男子①河田生



中学生個人男子の上位入賞者

徳島剣清塾 ②徳原琢磨(佐吉クラブ) ③藤井陽斗(徳島剣清塾) ④鹿島大雅(徳島剣清塾) ⑤学生女子の部①多川響音 ②日垂鍊心塾 ③出口純葉(日垂鍊心塾) ④柳生夏希(日垂鍊心塾) ⑤坂口凜(日垂鍊心塾) ⑥中学生男子の部①養武館 ②鈴木一(松和会) ③辻村瑠人(松和会) ④由代朝也(松和会) ⑤中学生女子①合本真智子(佐吉クラブ) ②柏原あこ(養武館) ③大塚仁葉(鳴門市光武館) ④秋山鈴奈(鳴門市



中学生個人女子の上位入賞者

光武館 団体の全国大会は7月28、29日に日本武道館であり上位チームが、個人の全国大会は10月16日に愛知県のパナアリーナ小牧であり各クラスの優勝者が出場する。

2022年(令和4年)6月19日 日曜日

四国高校選手権 前期

第2日

剣道

【男子】個人決勝 竹内(帝京) 第2、メー山田(高知)
【女子】個人準々決勝 岡部(高松) 中村(高松)
決勝 岡部(高松) 中村(高松)
土岐(高松)

2022年(令和4年)6月25日 土曜日



4

剣道・岩原千佳、松山若樹 (八代白百合学園)

「2人大将」雪辱を期す



全国大会春夏連覇を目標に掲げる岩原(左)と松山(右)＝熊本県八代市の八代白百合学園(同校提供)

つて1本勝ち。インターハイ出場が懸かる第3試合は「気持ち強く持つて臨んだ」と積極的な攻め、メン2本で優勝を決めた。一方、松山は第1試合で1本負けした反省を踏まえ、第2、3試合はチームの勝利を最優先した戦いに徹した。1-0で回ってきた副将戦は、いずれも勝利

3月に愛知県で開催された全国選抜大会の剣道女子団体を16年ぶりに制した八代白百合学園(熊本)。「春夏連覇」を目標に掲げ、初のインターハイ優勝に照準を合わせる。チームの中核を担う徳島出身の岩原千佳(徳島市出身)と松山若樹(わかな、小松島市出身)は、昨年のインターハイ決勝で敗れた雪辱を果たさべく、必勝を期している。

熊本県総体で主将の岩原は、大將、松山は副將として2連覇に貢献した。どんな状況でも勝たなければならぬ大將と、勝敗のポイントを握る副將。168cmの体格を生かした力強い攻撃が持ち味の岩原と、瞬間的な判断力に優れる松山は、チームの面輪として就任3年目の澤田武秀(たつひで)監督の期待に応えた。

順当に勝利を取めたとはいえず、3戦全勝を締めくくった決勝リーグは接戦の連続だった。岩原は2-1で迎えた第1試合でメンを奪

2022年(令和4年)8月4日 木曜日

剣道女子 団体V狙う八代白百合(熊本)

県出身2人にエール

全国高校総合体育大会(インターハイ)の剣道が5日から高知市で行われる。女子団体の初の全国制覇を目指す熊本県の八代白百合学園をけん引するのが、徳島出身で3年生の岩原千佳(18)、松山若樹(18)両選手。2人の小中学校時代を見守った県内の恩師らも教え子の悲願達成に期待を寄せる。

岩原、松山選手あすから本番



チームの主夫としてインターハイ初制覇を目指している徳島県出身の岩原(左)
・松山両選手(八代白百合学園高校提供)

小中時代の恩師「勝算は十分」

両選手とも3人きょうだいの末っ子で、それぞれ兄の背中を追い剣道をはじめた。小学校時代に汗を流したのが小松島市内の剣道教室「小松島少剣クラブ」。指導した青木博志代表(60)は「2人とも当時から才能は秀でていた」と振り返る。高速のメンが武器の岩原選手と、変幻自在に返し技を操る松山選手。道場の外ではごく普通の友達同士だが、竹刀を握ると互いに譲らぬ真剣勝負を繰り広げた。学年別の大会では常に2人が決勝まで勝ち上がり、2人が決勝まで勝ち上がり、2位を独占。青木代表は「勝敗は五分だった。ライバルがそばにいたことで切磋琢磨し、力を伸ばせたのだと思う」と話す。

徳島中学校剣道部で3年

間指導した兼松佳史さん(51)真光中教頭にも、練習に取り組む2人の真摯な姿勢を覚えている。「基本動作の練習を100本、200本と課したが、最後まで一生懸命振っていた。剣道が大好きだった」
2人が3年生だった2019年、徳島中は徳島県中学総体、四国総体の団体でいずれも優勝。ただ、躍進が期待された全国総体は頂点に届かなかった。
進学先の高校を選択する時期、兼松さんは「しっかりと自分が行きたい道を選びなさい」と助言。2人は果たせなかった日本一を熊本から目指す道を選んだ。
7月25、26両日に福岡市で行われた玉竜旗高校大会で、八代白百合は団体3位に入賞。岩原選手も優秀選手に選ばれるなど、全国制覇に向けて調子は上向きだ。インターハイは、勝ち抜き方式の玉竜旗大会と異なり、先鋒、中堅など5つのポジションの勝ち数で争う団体戦。兼松さんは「岩原、松山と、大将クラスの選手が2人いる八代白百合は十分勝算がある」と太鼓判を押す。青木代表も「普段通りの力を発揮することが大事。平常心で臨んで」とエールを送った。
剣道は個人戦が5日から始まり、団体は6日から予選リーグ戦が行われる。(平尾貴宏)



第14日

女子個人4回戦 攻め込む八代白百合学園の岩原(右) 〓高知市の県立春野総合運動公園体育館



岩原

(熊本・八代白百合)
徳島中出

8強入り

剣道

女子

5日始まった剣道女子個人で、徳島中出身の岩原(熊本・八代白百合学園)がベスト8に進出した。「勝ち残って(翌日)から団体戦に臨む)チーム活躍し、優秀選手に選ば

れるなど調子は上々だった。しかし、8強入りを決める4回戦は、相手に先制の一本を許す苦しい展開。逆転勝利を引き寄せたのは、このインターハイに懸ける強い気持ちだ。「生まれ育った徳島を、一人も団体も勝つて、みんなに報告したい

【男子】個人1回戦
橋本青空 ×
熊本隆汰 ×
岩谷愛夢 (高西)

【女子】個人1回戦
楠岡晴琉 (高知) ×
谷村七海 (高東)

青池玲瑠美 (福井) ×
代白百合学園 ×

剣道

女子

【男子】個人1回戦
橋本青空 ×
熊本隆汰 ×
岩谷愛夢 (高西)

【女子】個人1回戦
楠岡晴琉 (高知) ×
谷村七海 (高東)

【男子】個人1回戦
橋本青空 ×
熊本隆汰 ×
岩谷愛夢 (高西)

【女子】個人1回戦
楠岡晴琉 (高知) ×
谷村七海 (高東)

青池玲瑠美 (福井) ×
代白百合学園 ×

四国 インターハイ

第15日

月曜

2022年(令和4年)8月7日 日曜日

スポーツ (22)



女子団体予選リーグ・富岡東対広 果敢に攻め込む富岡東の先鋒
・鳥澤(右) 〓高知県立春野総合運動公園体育館(岡野将大撮影)

富岡東、予選Lで姿消す

剣道 女子団体

剣道団体女子の富岡東は6日の予選リーグB組で1勝1敗の2位に終わり、四国インターハイの舞台から姿を消した。ベスト16に進出した昨夏以上の成績を目指したがかなわず、3年生たちの目から涙があふれた。

広(広島)との第1戦はいずれも3年の先鋒(せんぽう)鳥澤、次鋒嶋田が相次ぎ一本勝ちして波に乗り、大将谷村も手堅く引き分けて先勝。だが、1勝同士で迎えた甲府商(山梨)との第2戦は精彩を欠いた。鳥澤が微妙な判定後に一本を取られ、嶋田も分けて取り返せなかった。大将谷村は2本のメンを奪われ万事休す。「気持ちの弱さが出てしまった」と、嶋田と谷村は悔しそくに振り返った。

ただ、先輩らの16強を越えようと、部員全員で積んできた研さんの証しは見せた。鳥澤は前日の個人戦で2勝、全国大会の個人戦で勝つのは初めてだった。

1年の中村が第2戦で

一本勝ちを収めるなどチーム力の底上げも感じさせた。鳥澤は「みんなをやってきたことは間違っていない。来年こそ予選を突破し、さらに上を目指して」と、後輩たちに目標を託した。(平尾貴宏)



剣道女子団体予選リーグ・小牛田農林戦で果敢に攻め込む八代百合会園の大將岩原(左)(岡野将大撮影)

「2人大將」岩原・松山(徳島)主力

八代白百合(熊本)決勝下へ

女子団体は「2人大將」手が主力の八代白百合が突破した。とされる徳島出身の園(熊本)が、3チームライバルの三養基(佐4)一方、八代白百合岩原千佳、松山若樹両選総当たりの予選リーグを賀が先にく試合を終え園は1試合を終えて1分

で勝者数1。無条件で決勝トーナメントに進むには、残り1試合で勝者数3が必要だった。無つても仕方がない。目の前の相手に集中しよう。澤田監督のげきき選手が応えた。先鋒と次鋒が勝って中堅が分け、迎えた松山の副将戦。出だしから俊敏な動きで相手を圧倒し、立て続けに2本のメンを決め、勝者数を4とした。松山は「落ちて着いて相手の動きを見ながら打てた」とにこり。3回戦止まりだった前日の個人戦の悔しさも晴らした。

男子個人決勝		女子団体予選リーグ白ロツ	
高野 中尾主真	熊本 九	富岡東 2-1	八代百合 4-0
高野 熊本 九	熊本 九	鳥澤 廣	園 0
中尾 中尾主真	熊本 九	鳴田 廣	園 0
熊本 熊本 九	熊本 九	中村 廣	園 0
熊本 熊本 九	熊本 九	谷村 廣	園 0
熊本 熊本 九	熊本 九	北井 廣	園 0
熊本 熊本 九	熊本 九	小嶋 廣	園 0
熊本 熊本 九	熊本 九	角田 廣	園 0
熊本 熊本 九	熊本 九	宮川 廣	園 0
熊本 熊本 九	熊本 九	高岡東 1-0	園 0



2022年(令和4年)8月9日 火曜日

第16・17日

大将岩原(徳島)涙の惜敗

女子

八代百合(熊本)3位

剣道



女子準決勝・八代百合学園対中村学園女子 代表戦で果敢に攻め込む八代百合の大将岩原(右)
▲高知県立春野総合運動公園体育館(岡野将大撮影)

徳島出身の岩原と松ナメント準決勝で中村学一(なむが)が終わった。山を擁する八代百合学園女子(福岡)に敗れて、先鋒(せんぽう)から(熊本)は、決勝ト13位。悲願の初優勝に挑み、大将まで五人全員が引き

分けて行われた一本勝負の代表戦で、大将岩原が無念の敗北を喫した。試合後、涙が止まらない大将を、部員らが肩を抱くようにして取り囲んで慰めた。

大会5連覇中の強豪・中村学園女子との大一番。命運を託された代表戦で岩原が向かい合った相手は、先に対戦して引き分けた大将ではなく、7月の玉電旗高校大会で負けた副将だった。絶対に勝たなくてはならないと思つて臨んだ。しかし、慎重になりすぎたのか、間合いをうまく詰めることができず、得意のメンを繰り出せないまま試合開始から分、痛恨のコテを奪われた。

副将松山も目を真つ赤にはらした。副将戦はコテを奪つて両チーム初の本一。ところが直後に反則を取られて一瞬集中が途切れ、ドウを取り返されなかった。「自分が守り切らななくてはならなかった」と悔しがった。

2人は徳島中を卒業後、日本一を目指して熊本へ。大将、副将を務め、チームの両輪として存在感を發揮してきた。澤田武秀監督も「岩原らを軸に部員個々の力が付いた」と成長を認めた。

「つらいことも多かったけど、みんなが乗り越えてくれたことに感謝している」と振り返った松山。岩原も「意識の高い仲間と一緒に励んできた3年間は本当に充実していた」と話し、涙を拭いた。

(平尾貴宏)

2022年(令和4年)8月21日 日曜日

スポーツ (20)

剣道

アリーナ
（ウインドヒルくしろスーパーアリーナ）

◇徳島県関係と決勝
【男子】団体1回戦
幕張本郷 2-1 那賀川
千歳
▽決勝
九州学院 1-0 大野東
（熊本）
九州学院は大会連続10度目の優勝。

全国中学校 体育大会

第5日

(23) スポーツ

2022年(令和4年)8月22日 月曜日

5

全国中学校体育大会（全中）第6日は21日、北海道釧路市ウインドヒルくしろスーパーアリーナなどで11競技が行われた。剣道女子個人の鈴江海音（木頭）が準々決勝に進出し、準優勝した小林心乃（愛知）に敗れたが

全国中学校 体育大会

第6日

5位に入った。相撲団体の阿南一は予選3敗で敗退。バスケットボール男子団体の八万、城東はいずれも予選リーグで敗れた。卓球男子個人の引地亮斗（南部）は3回戦で敗れ、16強入りを目指した。



得意技磨き無欲の勝利

初戦の2回戦から3勝の鈴江（木頭）。5位に思っていたより上位にし、準々決勝に進出する。入って敢闘賞を獲得し、快進撃を見せた女子個人「初戦突破が目標だった。調した。」

準々決勝では、準優勝した愛知の選手と対戦。メンを狙う相手に対して返しドウで応戦する展開となり、互いに決め手も欠いたまま3分が過ぎて延長戦に突入した。「何としても1本取る」。攻めようと竹刀を上げた瞬間、わずかな隙を突かれてドウを決められた。「4強に一步届かず、すごく悔しかった」と鈴江。準々決勝で惜しくも敗れたとはいえ、2回戦は後半に飛び込んでメンを決め、接戦となった3回戦女子個人で5位に入った木頭の鈴江は北海道釧路市ウインドヒルくしろスーパーアリーナ

練習不足で臨んだ四国総体個人戦は、まさかの1回戦敗退。それが転機となり、練習で出たメンやコテ返しメンなどの得意技に磨きを掛け、苦手がなにも取り組んだことが結果につながった。高校進学後も剣道を続ける予定。「今日は竹刀が浮いて攻められる場面が多かった」と反省点を挙げ、「自分から攻める形をつくらたい」と決意を語った。

(須見亨次郎)

剣道

（ウインドヒルくしろスーパーアリーナ）

◇徳島県関係と決勝
【男子】個人1回戦

安方晴真 松本奏利
熊本・九ノメ (木頭) 村コ
州学院 中村文次郎 (東京) 関コ
州学院 熊本・九ノメ 岩本響輝
州学院 熊本・九ノメ (那覇) 西田菜乃花
▽決勝 嶺玉・富コ (女子) 個人1回戦
佐藤千夏 (脇町) 中 熊本・九ノメ
鈴江海音 武田詞葉
鈴江海音 (木頭) メー (岡山) 総
鈴江海音 稲村凜
鈴江海音 佐 瀬賢・小メー
鈴江海音 針 新瀧・小メー
小林心乃 小 鈴江海音
愛知・植ド (木頭) 池南 熊本・菊

徳島 16強入り 成年男子



剣道

(ユウケイ武道館)

◇徳島県対決勝

【成年男子】2回戦

徳島 3-2 島根

美馬 1-メメ 加藤

玉田 越 コメメ 長岡

○白田 コ反下 原 一 玉田 コニコ 小松 一 柄木は初優勝。
○山室 メメ 深石 一 【成年女子】決勝

鮮やかな逆転勝ち

成年男子の徳島は、初戦を下し、16強入りを果たした。監督を兼任する副将の山室(県警)は「大」と晴れやかな表情を

見せた。1勝2敗で迎えた副将

戦。山室が鋭い踏み込みで立て続けにメンを2本奪い、勝負を振り出しに戻した。大将戦は、互いにコテを1本ずつ取り合う緊迫した展開となった。相手の手元がわずかに浮いた一瞬を逃さず、玉田晋(徳島文理高教)が「とっさに体が反応した」と振り返るコテを的確に決め、激戦に終止符を打った。

目標のベスト8を懸けて3回戦で対戦する岩手は実力が似通っており、再び接戦が予想される。玉田晋が「全精力を集中して勝ちたい」と闘志を燃やせば、山室は「気持ちを竹刀に乗せ、5人全員で上を目指す」と意気込んだ。

(富士佳輝・写真も)

成年男子2回戦・徳島対島根 積極的メンを狙う徳島の副将・山室(右) 宇都宮市のユウケイ武道館

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」第5日は5日、宇都宮市のユウケイ武道館などで11競技が行われ、徳島県勢は剣道、ラグビー、自転車の3競技に出場した。剣道の成年男子が29年ぶりに4強入り。3位決定戦で敗れたものの、県勢の団体競技で今大会初入賞を果たした。ラグビー女子は予選



第5日

ブルII組を2位通過し、8チームで争う決勝トーナメントに進出。3大会連続の入賞を決めた。4日に全5レースを終えたセーリングの成年男子470級の奈良充規(富田製薬)・中野太洋(城西高神山校)組は11位だった。第6日の6日は13競技が行われ、県勢は7競技に出場する。

徳島 29年ぶり 4強 成年男子



成年男子3位決定戦・鹿児島対徳島。メンとコテを決めて1勝を挙げた徳島の大将玉田晋(左)。ユウケイ武道館(岡野将大撮影)

剣道

ユウケイ武道館

徳島県代表

【成年男子】3回戦

徳島 1-1 岩

手

美馬 玉田 本勝ち

菅野 山口

山室 目田

山室 コーメ

菅崎

安達

光る粘り強さ 接戦制す

前日の2回戦を逆転で制した成年男子徳島がこの日も快進撃を見せ、3回戦、準々決勝を突破。県勢29年ぶりの4強入りを果たした。終盤までもつれ込む接戦をものにす粘り強さが光った。

難敵静岡との準々決勝は、中堅戦を終えて1勝1敗1分け。チームの命運を託された副将山室(県警)と大将玉田晋(徳島文理高教)の両人、ランがここから本領を発揮した。まず監督兼任の山室が得意のメン、2本勝ち。最高段位8段を持つ玉田晋もトウを立て続けに決め、異色の2本勝ちで締めくくった。

3回戦ではさびけ1敗と追い込まれた後、大将玉田晋がメンを連取。チーム全体で1本1勝、本数勝ちを収めた。玉田晋は「勝つしかない状況だったので、絶対負けたくないという気持ちで積極的に攻めた」と振り返った。

警察官や教員でチームを編成。新型コロナウイルスの影響で合同練習は数回しかできず、各自が個人練習を重ねてきた。最年長の57歳・玉田晋は各自が力を出し切れるよう緊張をほぐす心配りを怠らず、一体感を高めたチームは、3回戦に乗り勝った自信を、目標(8強)を上回る結果に結びつけた。

1993年の東西国体以来となる4強入りで、天竺杯(男女総合)順位アップを目指す県チームに大きく貢献した。山室は「このチームでここまで来られてうれしい」と感慨深げ。玉田晋は「相道に努力を続けたい」と良い結果を出るといふことを実感できた。自分たちの戦いぶりを通して徳島の剣道界が少しでも盛り上がるかと語った。(富士佳輝)

▽準々決勝

徳島 3-1 静岡

○市川 ヌメ 玉田

○鈴木 ドーモ 山室

○菊池 ドコ下 山室

○藤原 ドーモ 山室

○大島 ヌメ 玉田

○天竺 3-1 徳島

○栗崎 ヌメ 玉田

○木村 ヌメ 美馬

○鹿兒島 3-1 徳島

○森園 ヌメ 玉田

○竹中 ヌメ 山室

○天竺 ヌメ 美馬

○森園 ヌメ 玉田

○山室 ヌメ 山室

▽3位決定戦

○市川 ヌメ 玉田

○鈴木 ドーモ 山室

○山室 ヌメ 山室

○栗崎 ヌメ 玉田

○木村 ヌメ 美馬

○鹿兒島 3-1 徳島

○森園 ヌメ 玉田

○竹中 ヌメ 山室

▽決勝

○市川 ヌメ 玉田

○鈴木 ドーモ 山室

○山室 ヌメ 山室

○栗崎 ヌメ 玉田

○木村 ヌメ 美馬

○鹿兒島 3-1 徳島

○森園 ヌメ 玉田

○竹中 ヌメ 山室

那賀川男女ともV

剣道

県中学新人大会

剣道の第47回徳島県中学校新人大会は19日、鳴門ソイシヨイ武道館で男子27校、女子22校が参加して団体戦が行われ、男女とも那賀川が優勝した。男子は2年連続9度目、女子は4年連続21度目。男女の上位各4校が四国新人大会(来年2月25、26日・美馬市うだつアリーナ)に出場する。

3-0 勝浦 羽浦 1-0 北島	3-0 勝浦 羽浦 1-0 北島	3-0 勝浦 羽浦 1-0 北島	3-0 勝浦 羽浦 1-0 北島	
小松島 不戦勝 本頭 勝町 3-1	2 藍住 大麻 3-0 国府 鳴門 1-1	3-2 半田 2 回戦 那賀川 3-1	1 松茂 城内 3-1 鳴教大付 阿南 1 (代表勝) 1 加茂名 徳島文理 4-1 山城 鴨島 3-1 島文理 4-1 小松島 5-0 羽浦 脇 藍住 東 小松島 5-0 羽浦 脇 町 4-1 大麻 徳島 3-1 鳴門 1-1	
▽準々決勝 那賀川 4-1 城内 内 徳島文理 4-1 阿南 小松島 2-1 鴨島 徳島 4-0 脇町 準決勝 那賀川 2-1 徳島文理 徳島 5-0 小松島	▽決勝 那賀川 1-1 徳島	本教勝ち	西岡 コーコ 柏原 メドー 阿井 トド	
大和 野田	【女子団体1回戦 半田 2代 表勝 2 北島 城東 4-0 羽浦 驚敷 2-1 阿波 加茂名 4-0 脇町 徳島 3-1 三好 鳴教大 付 3-0 鴨島 2-2 回戦 那賀川 5-0 半田 徳島文理 3 (代表勝) 3 勝浦 県立川島 3-1 城東 石井 5-0 驚敷 鳴門 4-1 加茂名 高岡 3-1 徳島 国府 3-0 藍住 東 小松島 4-0 鳴教大 付 準々決勝 那賀川 5-0 徳島文理 石井 3-1 県立川島 鳴門 1-3 2 高岡 東 小松島 3-0 国府 準決勝 那賀川 4-1 石井 鳴門 2-1 小松島	▽決勝 那賀川 2-2 鳴門 1	本教勝ち	吉岡末 コーコ 濱田 コーコ 吉岡琴 メニコ 川野 川野 内田 コーコ
西岡 中岡 川添 村瀨 西尾	鳴門 1	西岡 中岡 川添 村瀨 西尾	西岡 中岡 川添 村瀨 西尾	



剣道

◆第53回徳島県少年錬成大会(11月6日・鳴門ソイシヨイ体育館)
 △決勝トーナメント1回戦 徳島 剣清塾 2-1 徳島少年剣道教室 和 田 少年剣道教室 石井 少年剣道 クラブ 4-0 那賀川 剣道教室 わか あゆみ 驚敷 振武館 2-1 佐古 剣道クラブ 準決勝 剣清塾 2-0 和 田 島 驚敷 2-1 石井 決勝 剣清塾 (鹿島 藤井 水口 河田 東 河田 意) 3-1 驚敷 (中山 東 福永 西尾 松本)

城北2年ぶりV

女子は富岡東9連覇

剣道

県高校新大会

剣道の全国高校選抜大会は26日、男子は徳島県予選を兼ねた第13校、女子10校が参加した。富岡東9年連続34度目の頂点に立った。男女とも優勝校が全国大会(来年3月26、28日・愛知県春日井市総合体育館)へ進出する。



男子決勝・城北対阿南光 先鋒戦の勝利でチーム勢一ツかせた城北の橋本(左)と鳴門ノシヨイ武道館

城北は2年ぶり8度目の優勝に輝き、女子は富岡東9年連続34度目の頂点に立った。男女とも優勝校が全国大会(来年3月26、28日・愛知県春日井市総合体育館)へ進出する。

上位4校が四国新大会3位決定戦 富岡東1・阿南光(来年2月4、5日・藍住町町民体育館)に進む。富岡東4・城北

▽決勝
富岡東4・城北
城北1
阿南光
▽準決勝
阿南光1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3

▽準決勝
阿南光1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3

▽準決勝
阿南光1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3

▽準決勝
阿南光1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3

▽準決勝
阿南光1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3
徳島文理1・徳島文理3

粘り発揮 雪辱果たす 城北

城北女子は夏の県総体では先鋒戦ながら粘り強められた。それでもひる流れを渡さず、引き分け準決勝で敗れた阿南光に「く追い付き、リベンジしたい」と語り、2年ぶり4戦のうち、2戦は開始3秒でトウを決し、試合のつたし振り返った。



女子決勝・富岡東対城北 先鋒戦を制し優勝に貢献した富岡東の村田(右)

試合を決めたのは先鋒を自他に、強気に攻め(せんぽう)の橋本、開ることができた」と話した。2年ぶりとなる全国選抜大会は、8強以上を屈指する。永瀬は「さらに攻撃力をつけたい」と全国では勝てない。結果に満足せず、冬場の鍛錬を重ねてきた。橋本は「練習してきた」と(木村明)

デジタル版に写真特集
徳島新聞デジタル版では紙面に未掲載の写真を開いています。特集からイメージはQRコードからアクセスしてください。

あわー スポーツ

剣道

◆清原杯第67回県下大会(10月30日・11月3日・阿南市入来1ツ総合シタ)
【小学校】徳島剣清塾A(河

中学校男子優
勝の那賀川A



小学校優勝の徳島剣清塾A

田真冬 鹿島大雅 河田真紀 水口新次 藤井陽斗 河田蒼生 ②



中学校女子初優勝の小松島

日垂練心塾③徳島少年剣道教室③
【中学校】男子①那賀川A(濱田誠 西岡英士 柏原健人 阿井輝 林巧 大和希輔)②徳島③城内④徳島文理⑤女子①小松島(栗野安貴 松浦遥 中野朱貴 橋原空 桑田夢加 岩見羽)②鳴第一③那賀川④石井
【高校】男子①阿南光A(岩原靖人 吉田健心 岡田展 中野脩 大村橋次 島田隆)②岡西③鳴門④城北⑤女子①岡東A(長井薫 福崎 武蔵 小森 田七菜 中村晋 平田大和 森長来)②岡東B③城北④徳島市
①一般男子①徳島支部(生田 浩章 廣谷飛鳥 富田原大 生田真大 西田凌介 森康)②日垂練心塾③鳴門支部④小松島支部⑤女子①鳴門教育大 木原賢裕 神崎三華 大西叶恵 佐藤那都 ②阿南支部③青年大会④

2022年(令和4年)11月15日 火曜日

剣道

◆阿南中央1タリ1ツシ杯争奪賽(少年大会) 9月23日・阿南市武道館
【団体】高年①徳島剣清塾A ②徳島剣清塾③阿南少年剣道教室A 阿南少年剣道教室B 低学年①徳島剣清塾②徳島剣清塾B ③那賀川剣道教室わかあひ会A ④那賀川剣道教室わかあひ会B ⑤個人(人生)生田あゆみ 阿南少年剣道教室 ②本庄慈恵 大野小 ③中川凌汰 ④徳島剣清塾 ⑤表原一心 阿南少年剣道教室 ⑥高野里絆(徳島剣清塾) ⑦岩浅 ⑧高野里絆(徳島剣清塾) ⑨西潤 ⑩那賀川剣道教室わかあひ会 ⑪野村拓未 徳島剣清塾 ⑫尺長涼 ⑬新野少年剣道教室 ⑭亀井結之心 徳島剣清塾 ⑮3年①岩浅 ②徳島剣清塾 ③上原禮香 徳島剣清塾 ④大松谷澤太郎(那賀川剣道教室わかあひ会) ⑤高橋明里 徳島剣清塾 ⑥4年①水口萌香(徳島剣清塾) ②平田響寿(徳島剣清塾) ③亀井心暖(徳島剣清塾) ④羽坂菜那(那賀川剣道教室わかあひ会) ⑤5年男子①河田蒼生(徳島剣清塾) ②鹿島大雅(徳島剣清塾) ③藤井陽斗(徳島剣清塾) ④水口新次(徳島剣清塾) ⑤6年女子①長紗和子(新野少年剣道教室) ②高瀬智菜(新野少年剣道教室) ③山本京(阿南少年剣道教室) ④山ノ井夏希(阿南少年剣道教室)



高学年3位の阿南少年剣道教室



高学年優勝、準優勝の徳島剣清塾



中学校女子3位の鳴門第一

◆第25回西杯争奪近頃遠征少年大会(10月10日・鳴門アミハリユホール)
◇徳島関係の上位
▽小学生低学年敢闘賞 徳島剣清塾(中学校女子)鳴門第一◇同敢闘賞 県立川島A



個人の上位入賞者ら

男女計10区分代表決定

剣道

都道府県対抗選手選

剣道の第71回全日本都道府県対抗優勝大会(男子)と第15回全日本女子優勝大会の出場権を懸けた徳島県選手選が25日、徳島市の県立中央武道館で行われ、男女計10区分の代表が決まった。

男子は次鋒(じほう)・岩原潤哉(鹿屋体大)、5将・菅朋樹(刑務所支部)、副将・江口大祐(刑務所支部)、大将・吉田茂生(徳島支部)。女子は次鋒・岩原千佳(熊本・八代白百合学園高)、5将・松本美紗樹(警察支部)、中堅・長谷川愛実(阿南支部)、3将・長地千景(阿南支部)、副将・前田奈々枝(阿波支部)となった。出場1人の大将は竹内佳代子(鳴門支部)に決まった。男女とも先鋒は、県高体連から推薦される。男子の中堅と3将は後日予選を行う。

男子の全日本大会は来年4月29日に大阪で開催。女子は7月9日に東京で開催される。

【男子】次鋒(天守毛) 準々決勝 河野(中部)× 大城高



女子次鋒で代表となった岩原 (左) = 県立中央武道館

知科太、岩原(鹿屋体大) × 田 森(環太平洋大)、北 江 ロスコ(刑務所支部) 2敗

林(京華大) × 松本(徳島大) × 富永(国際武道大) × 松本(徳島大) × 進法勝 岩原(河野) × 北江(河野) × 富永

▽決勝 岩原(河野) × 北江(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

▽5将(18歳以上35歳未満) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

▽4将(18歳以上) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

▽3将(18歳以上) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

▽2将(18歳以上) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

▽1将(18歳以上) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

▽中堅(30歳以上) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

▽副将(40歳以上) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝

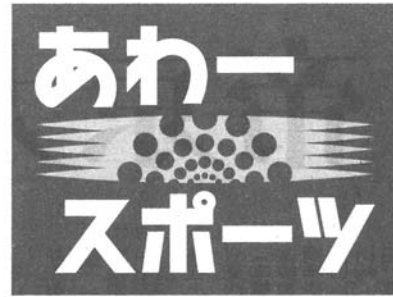
▽大将(40歳以上) 岩原(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝 山崎(河野) × 進法勝



岩原 (八代白百合 学園高3年)
凱旋試合制す
四国一H団体3位

岩原は稽古に励み、大会では徳島の役に立ちたい。大学では全日本学生大会の団体、個人両方で優勝を目指す」と今後の目標を語った。(岩村純志)

岩原(八代白百合 学園高3年)は、凱旋(がいせん)試合で発揮した。参加2人の女子次鋒は、一発勝負となった。相手は、決しぶりの顔合わせとなる1学年上の選手。立ち上がりから相手の動きを慎重に見極めていた岩原は、3分、得意の飛び込みメンを打ち込んで一本。残り時間も気を緩めず攻め続け、勝利した。前回大会は熊本の実績として準備に貢献した。しかし、来年の都道府県対抗大会は地元代表として出場しようと徳島県選手選にエントリーした。来春には大学生となる。岩原は稽古に励み、大会では徳島の役に立ちたい。大学では全日本学生大会の団体、個人両方で優勝を目指す」と今後の目標を語った。(岩村純志)



剣道・居合道

◆第17回吉野川市民体育祭(11月20日・美郷ふるさとセンター体育館)

【剣道】団体小学生低学年①鴨島少年剣道教室A②鴨島少年剣道教室B③吉野川市少年剣道教室B③吉野川市少年剣道教室上▽高学年①吉野川市少年剣道教室A②鴨島・山川合同チーム③上浦剣道教室
▽個人木刀による基本稽古法①三好智也②三好美紀③木内茂美③秋月佐代▽小学2年以下①山出朋弥②河野颯良③林大洋③稲垣健吾▽3、4年①石井佑弥②木内聡真

③井上双葉③森本時士▽5、6年①片岡遼大②三好琥珀③木内景次③七條進▽中学女子①前田優莉②佐藤優多③坂東輝夢③石井袖衣▽同男子①四宮真一郎②中山遙守③真田一輝③山本匠真▽高校女子①佐藤愛結花②正木七菜③六條美玖③一宮めい▽同男子①前田優真②大塚怜斗③藤井武士③八木優也▽一般①鳴瀬朝希②三好延年③近藤一志③高田迅入
【居合道】小学生①黒川翔太郎②木村起真③宮本昂成▽中学生①大森春奈②大岸娃心▽高校生①大岸美心②長谷川亜寿美③日和田慧果▽五段以下①山田師正②小野和敏③日和田慈海▽六段以上①林由美②徳山豊③森将夫

上位入賞者ら



女子団体決勝・富岡東対高松商 大将戦を制して優勝に貢献した富岡東の中村(右)＝藍住町民体育館(岡野将大撮影)



富岡東5年ぶりV女子

攻めの姿勢貫く

「自分から仕掛ける」。富岡東女子は長井監督の教え通りに積極的に攻め込み、3月の全国選抜大会の試金石となる四国のタイトル奪取に成功した。

高松商との決勝。先鋒(せんぼう)が引き分けた後、次鋒戦に臨んだ2年村田は「雰囲気になれないよう、最初から技を繰り出した」。開始1分40秒、相手の動きが止まったのを見逃さずメンを打ち込み、1本勝ちした。

1-0で試合を迎えた大将の1年中村は開始26秒、得意のコテを打つと見せかけ、防御が甘くなった頭部を狙ってメンで1本。準決勝で先取しながら足が動かなくなった終盤に追い付かれた反省を生かし、最後まで攻撃の手を緩めなかった。個人戦

も制した頼れる1年生は「受けて立つと相手のペースになるので気を付けた」と言う。

部員11人のレギュラー争いは激しい。選抜切符をつかんだ昨年11月の県予選メンバー7人に入れなかった2年の岩佐と玉濱は今回出場し、優勝に貢献した。予選リーグ2試合で勝利した岩佐は「(試合に出たいと)常に前を見て頑張ってきたことが結果につながった」と話した。

試合後、輪をつくり涙を流して喜んだ選手たち。主将の岩佐は「出場できる選手も、そうでない選手も励まし合って力を付けてきた。今日の勝利を自信に、さらに全員がレベルを上げたい」。目標の選抜制覇に向け、切磋琢磨(せつさたくま)を続ける。(木村恭明)

剣道 四国高校新人大会

剣道の第23回四国高校新人大会最終日は5日、藍住町民体育館で団体戦が行われ、女子の富岡東が5年ぶり7度目の栄冠をつかんだ。このほかの徳島県勢は、女子の残り3校と男子全4校のいずれも予選リーグを突破できなかった。

◎徳島県勢と決勝

デジタル版に写真特集



徳島新聞デジタル版では紙面に未掲載の写真を公開しています。特集ページはQRコードからアクセスしてください。

男子団体予選リーグA組
阿南1勝1敗0引、高松商1勝1敗0引、高松東1勝1敗0引、高松西1勝1敗0引、高松南1勝1敗0引、高松北1勝1敗0引、高松東2勝0敗0引、高松西2勝0敗0引、高松南2勝0敗0引、高松北2勝0敗0引

女子団体予選リーグB組
富岡東2勝0敗0引、高松商2勝0敗0引、高松東2勝0敗0引、高松西2勝0敗0引、高松南2勝0敗0引、高松北2勝0敗0引

第五(愛媛) 帝京華は4年ぶり8度目の優勝



2023年(令和5年)2月14日 火曜日

剣道

◆第40回徳島県スリット少年団交流大会・第45回全国スリット少年団交流大会予選(12月4日・鳴門ソレイシイ体育館)
 【団体】小学生①阿南市A 平田尊① 徳島剣道塾 尺長紗和子② 新野少年剣道教室 鹿島大雅② 徳島剣道塾 高橋智葉① 新野少年剣道教室 河田蒼生① 徳島剣道塾
 ②阿南市B ③阿南市C ④阿南市D
 【個人】中学生①津佐三小 松島少剣クラブ②林巧(阿南少年剣道教室) 中学生①西村浩(鳴門市光武館)②上村優亜(小松島少剣クラブ)



団体の上位入賞チームのメンバー

◆第5回有賀杯争奪大会(1月23日・那賀川スポーツセンター)
 【団体】小学1、2年①徳島剣

清塾A(岩佐晴、高野重純、野村拓未)②徳島剣道塾B③阿南少年剣道教室A④佐吉剣道クラブ⑤3、4年①徳島剣道塾A(岩佐詩平、田澤春、水口明彦)②那賀川剣道教室わかあゆ会A③阿南少年剣道教室A④誠武館道場⑤、6年①徳島剣道塾A(鹿島大雅、藤井陽斗、河田蒼生)②白亜練心塾③阿南少年剣道教室A④那賀川剣道教室わかあゆ会A



徳島剣道塾

2023年(令和5年)2月23日 木曜日

剣道の強豪・富岡東高校(阿南市)女子剣道部を、韓国・釜山出身の魏有辛さん(27)が約2週間の剣道留学で訪れた。韓国は世界有数の剣道が盛んな国。自宅で道場を開く父丞完さん(57)と同部監督の長井薫教諭(51)が知り合いだったのが縁で実現した。少女剣士らから高い技術を吸収し、「今後の鍛錬に生かしたい」と意欲を燃やす。

父と監督 大学部活で同期の縁

魏さん 剣道留学 韓国↓富岡東高



部員と談笑する魏さん(中央)＝阿南市富岡町の富岡東高校

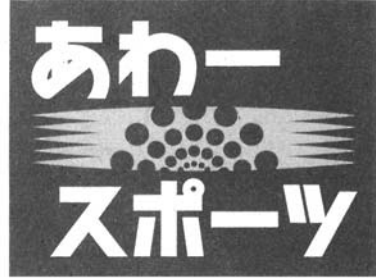
きょうまでの2週間 今後の鍛錬に意欲

魏さんは自宅に道場がありながらも水泳やテニスなどに打ち込み、25歳まで剣道の経験がなかった。エスティシャンとして働く中、同僚が剣道を始めたのがきっかけで丞完さんらに師事。仕事を終えた午後2時以降に練習に励み、昨年10月に初段を取得した。

丞完さんと長井教諭は国士館大の剣道部で同期。交流を兼ねて魏さんが同部で練習することになり、今月23日までの日程で11日に来県した。1、2年生部員11人と毎日約2時間、素振りや足さばきなどの基本練習、試合形式の「地稽古」に汗を流した。指導に当たった長井教諭は「癖がなく、基本に忠実な剣道ができてい」と評価。1年の中村莉音さん(16)は「一緒に基本練習をしたり、教える側になったりすることで、自分に足りない部分に気付いた」と刺激を受けている。

練習後の食事や、言語を教え合うなどして部員と交流を深めた。「日本に来て良い経験ができた。剣道は色んな国の人と交流ができるスポーツ。これからもずっと交流を続けていきたい」と魏さん。帰国後は自宅の道場に部員を招きたいと考えている。(越智浩子)

2023年(令和5年)2月27日 月曜日



剣道

◆第19回国際親善大会(11月5、6日・京都市武道センター)
 ◇徳島県関係
 ▼地区対抗1回戦 近畿A 副将 米倉滋・徳島東武館長 4
 1 1 関東E ▼2回戦 近畿A 4
 1 1 関東D ▼準決勝 近畿A 3
 1 2 東海A ▼決勝 近畿A 2 | 1 関東C



米倉

2023年(令和5年)2月27日 月曜日

女子2位トーナメント決勝・那賀川対協和 果敢に攻めて勝利を収めた那賀川の内田(左) 11うだつアリーナ



2位トーナメント
 那賀川女子首位
 四国中学新人剣道
 剣道の第18回四国中学校新人大会は26日、美馬市のうだつアリーナで4県の新人大会の男女上位4校が参加して団体戦が行われた。徳島県勢では、女子の那賀川が予選リーグ2位校による2位トー

ナメントを制した。1位トーナメントは男子が東予東、女子は久万の愛媛県勢が優勝した。大会は新型コロナウイルス禍の影響で2年ぶりに開かれた。
 ◇徳島県関係と1位
 【男子】予選リーグA組③徳島1勝1分け1敗▼B組④小松島3敗▼C組③徳島文理1勝2敗▼D組③那賀川1勝2敗
 ▼4位トーナメント1回戦 鏡野(高知) 2-1小松島

▼3位トーナメント1回戦 徳島2-1高知、那賀川2-1徳島文理▼決勝 那賀川3-2徳島
 ▼1位トーナメント決勝 東予東(愛媛) 2-1勝賢(香川)
 【女子】予選リーグA組③小松島2勝1敗▼B組③鳴門1分け2敗▼C組④石井3敗▼D組②那賀川2勝1敗
 ▼4位トーナメント1回戦 石井4-0高知▼決勝 石井2-1大方(高知)
 ▼3位トーナメント1回戦 小松島2-1鳴門▼決勝 小松島2-1綾川(香川)
 ▼2位トーナメント1回戦 那

2023年(令和5年)3月2日 木曜日

【掲載希望をお寄せください】 チーム名、申込者の氏名、住所、電話番号を書いて、郵便番号770-8572(住所不要)徳島新聞社社会部「頑張れスポーツ少年団」係へ。ファクス(088(655)7458)でも受け付けます。

頑張れ スポーツ少年団

剣道

- ◆1974年発足 吉野川市
- ◆藤川和秋道場長 選手12人(男子11人、女子1人、こども園1小学5年)
- ◆在籍校 鴨島中央認定こども園、鴨島かもめこども園、川島こども園、鴨島小、知恵島小、西麻植小、柿原小、脇町小
- ◆練習 週3回
- ◆片岡遼大キャプテンのチーム自慢 みんな負けず嫌いで一生懸命練習している
- ◆目標 チーム一体となって団体戦で優勝する
- ◆入部希望などの問い合わせは藤川道場長、電話0990(2786)5975

鴨島少年剣道教室



あわー スポーツ

2023年(令和5年)3月14日 火曜日

剣道

◆第10回中国四国地区少年剣道大会
 会12月10日・最市水島
 徳田公園体育館
 ◎徳島関係の上位
 △小学3年女子①梶詩(徳島剣道部)②川華音(白亜心塾)③原櫻香(徳島剣道部)▽4年女子①車井心暖(徳島清志)②敢闘賞11平田芽(徳島清志)▽6年男子 敢闘賞11徳原瑛騎(佐吉剣道クラブ)▽同女子①川華音(白亜心塾)②敢闘賞11坂口漢(白亜心塾)▽中学2年 敢闘賞11松浦遥(白亜心塾)
 ◆第28回徳島市スポーツ少年団交流大会(2月12日・とぎん七三アリーナ)
 (団体)小学校低学年①佐吉剣道クラブ②徳島少年剣道教室③高学年①徳島少年剣道教室②佐吉剣道クラブ③北井上剣道教室④徳島武館

(個人)小学1年生以下①中川照大(徳島少年剣道教室)②藤葉ゆい(徳島少年剣道教室)③園丸拓海(加茂少年剣道教室)④佐藤千冬(兼武館)▽2年生①高橋秀(徳島少年剣道教室)②清川美千琉(徳島少年剣道教室)③藤井大朗(佐吉剣道クラブ)④清水英大(佐吉剣道クラブ)▽3年生①平井大翔(佐吉剣道クラブ)②黒止祐衣(清東少年剣道教室)③越前諒斗(加茂少年剣道教室)④佐藤隼太(兼武館)▽4年生①北島道輝(徳島少年剣道教室)②中川晃志(徳島少年剣道教室)③東優子(佐吉剣道クラブ)④川野太雅(北井上剣道教室)▽5年生①橋本都(徳島少年剣道教室)②陶久翔(徳島少年剣道教室)③園原一真(北井上剣道教室)④前田裕吾(徳島少年剣道教室)▽6年生①徳原英騎(佐吉剣道クラブ)②中川旺亮(徳島少年剣道教室)③橋本佳梨(徳島少年剣道教室)④湯川千輝(徳島少年剣道教室)▽中学生①古田健人(兼武館)▽同男子①古田健人(兼武館)②大和智哉(兼武館)③高増浩(徳島少年剣道教室)④高増亮(徳島少年剣道教室)▽同女子①柴木書(徳島少年剣道教室)②吉岡未珠(兼武館)③高野琴祿(兼武館)④米倉真央(徳島少年剣道教室)
 ◆第48回徳島県西部地区少年大会(2月19日・阿波中学校)
 △小学生①右井少年剣道クラブ②徳武館③難住剣道スポーツ少年団③鴨門市武館▽中学生男子①鴨島一②難住③飯野脇町④女子①奥立島②在③三好脇町

春の全国高校選抜大会 18日開幕

富岡東女子 優勝狙う

【剣道】
城北(男子)
 学年②①①①①①
 名 聡良 海也 馬樹 真也
 氏 正望 高和 大輝 真
 ◎永瀨 藤本 橋本 渡板 東
 ◎近藏 藤原 橋本 渡板 東
 監督＝大石 真也
 富岡東(女子) ②②②②①①
 ◎富岡 佐か 和花 菜香 音詩
 ◎平田 濱七 小莉 村岡 福
 監督＝長井

26、28日・愛知県春日井市総合体育館
 男子団体の城北が上位進出を狙う。2年生2人がうち、永瀨は長い手足を生かして果敢に仕掛け

る。調子を上げている近藤は思い切りがいい。1年生のメンバーでは、篠原が俊敏な動きを見せ、蔵本は状況に応じた試合ができる。橋本は積極性が持ち味。1回戦は久御山(京都)と対戦する。

昨年ベスト16入りした女子団体の富岡東は、全国優勝を目指す。2月の四国高校新人大会個人戦を制した大将中村が絶対的なエース。170センチと長身ながら動きは素早く、得意技のメンはもろく、こ一番ではツキも決める。同大会準優勝の村田もポイントゲッター。平田は攻撃力が高く、岩佐、玉瀨は安定感がある。1回戦の相手は桜ヶ丘(山口)。



2023年(令和5年)3月27日 月曜日



3位の日亜錬心塾



1、2年生の上位入賞者



3、4年生の上位入賞者



5、6年生の上位入賞者ら

◎高野 祥(徳島剣道)▽年
 生①大西(那珂川剣道教室)▽年
 あゆみ(那珂川剣道教室)▽年
 ◎亀井 結心(徳島剣道)◎赤
 ◎徳島関係の上位
 △団体小学生学年③日亜錬心
 塾 山口 尚葉、柳生 夏希、坂口 潤
 坂口 潤、多川 聖
 大会(月23日・兵庫県高砂総合
 体育館)
 ◎徳島関係の上位
 △団体小学生学年③日亜錬心
 塾 山口 尚葉、柳生 夏希、坂口 潤
 坂口 潤、多川 聖

◎高野 祥(徳島剣道)▽年
 生①大西(那珂川剣道教室)▽年
 あゆみ(那珂川剣道教室)▽年
 ◎亀井 結心(徳島剣道)◎赤
 ◎徳島関係の上位
 △団体小学生学年③日亜錬心
 塾 山口 尚葉、柳生 夏希、坂口 潤
 坂口 潤、多川 聖

◎高野 祥(徳島剣道)▽年
 生①大西(那珂川剣道教室)▽年
 あゆみ(那珂川剣道教室)▽年
 ◎亀井 結心(徳島剣道)◎赤
 ◎徳島関係の上位
 △団体小学生学年③日亜錬心
 塾 山口 尚葉、柳生 夏希、坂口 潤
 坂口 潤、多川 聖

◎高野 祥(徳島剣道)▽年
 生①大西(那珂川剣道教室)▽年
 あゆみ(那珂川剣道教室)▽年
 ◎亀井 結心(徳島剣道)◎赤
 ◎徳島関係の上位
 △団体小学生学年③日亜錬心
 塾 山口 尚葉、柳生 夏希、坂口 潤
 坂口 潤、多川 聖